

06 知識・技能を身に付ける

取組事例

31

里山探索クイズラリー

～ 自然環境と里山の大切さ ～

名張市立桔梗が丘東小学校 4～5年生



複数の班に分かれて散策ルート歩く

実施時期	令和7年11月
実施場所	東山ふれあいの森
時間	2時間30分
対象・人数	小学4～5年生 68人
講師	地域ボランティア 子どもたちと地域の絆づくり事業 連絡協議会
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した名張市事業「森林環境教育推進事業」

めざす姿	06知識・技能を身に付ける （01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ）
ねらい	里山の役割について学習し、自然環境の大切さと保全の取り組みを知る
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の読み方や里山での安全な歩き方を学ぶことを通して、自然環境と里山の大切さへの理解を深める。 ・ 8班構成し、Aルート4班、Bルート4班に分かれ5分おきに出発。 ・ 東山ふれあいの森の約3.5kmの遊歩道を歩き、里山でみられる人と関りのあるものの特徴やその役割（樹木、昆虫、川、池、人工物など）に関するクイズに挑戦しながら10か所のポイントを巡る。
学習指導要領との関連	地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間） 面白さ・不思議さ・遊び・観察（小学1～2年生生活）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学3年生理科）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、自然体験（小学生総合的な学習の時間）、自然や文化に親しむ（小学生特別活動）、森林資源のはたらき・森林と人々の暮らし・自然災害と森林整備（小学5年生社会科）



ボランティアの方々による事前準備



ポイントごとにクイズに挑戦



地域ボランティアの方から詳しい話を聞く

準備	7月：教師によるコース下見、9月：ボランティアによるコース整備、11月：里山に関する児童の事前学習当日ボランティア59名参加、参加者移動用のバス、ポイントごとにクイズ用の紙や杭を設置、地形図
参加者の反応	・クイズや説明で自然に触れることの楽しさ学びました。ボランティアの方の説明もわかりやすく里山の大切さを知りました。
保護者の反応	・小学校の行事で東山ふれあいの森を散策させていただきました。子どもたちが森や植物に触れる貴重な機会をいただきました。